

所 属	観光国際部観光国際政策課				
係 名	サステイナブル・ツーリズム推進係			内線	3915
所 属	観光国際部観光資源活用課		所 属	観光国際部観光誘客推進課	
係 名	観光コンテンツ係	内線	3932	係 名	海外誘客係
				内線	3955

## 「稼ぐ」観光地域づくりの推進

1 事業費 220,859 (前年度 149,000)

【財源内訳】

【主な使途】

国庫	96,058	補助金	153,000
使用料及び手数料	53	委託料	50,132
一般財源	124,748		

## 2 背景・事業目的

世界に選ばれる持続可能な観光地に向けては、地域が「稼ぐ」視点を持ち、観光消費を拡大させる取組みが求められている。そこで、県内の世界に誇る遺産等の観光資源を活用した高付加価値な旅行商品の造成や、観光消費拡大に向けた地域の取組みを支援するなど、「稼ぐ」観光地域づくりを推進する。

## 3 事業概要

### (1) 高付加価値着地型体験コンテンツ等の充実 (60,975 千円)

インバウンドの観光消費拡大を図るため、世界に誇る遺産等の観光資源を活用した高付加価値な旅行商品造成やPR、世界の旅行博・商談会展等を行う。

### (2) 地域資源の高付加価値化支援 (48,000 千円)

従来滞時間延長等に向けた地域の取組支援に加え、非公開施設の特別見学、期間限定メニューなど、高付加価値な体験・サービスの商品化を支援する。

<補助制度の概要>

補助率：1/2 以内等、補助限度額：5,000 千円等

### 新 (3) 中山道WEB3.0プロジェクトの展開 (5,000 千円)

デジタル技術 (WEB3.0) の活用により中山道の浮世絵等をデジタルアート化し、各宿場などを訪れた観光客を対象に数量限定で提供するなど、沿線観光資源の高付加価値化に取り組む。

### (4) 岐阜未来遺産プロジェクトの推進 (106,884 千円)

岐阜未来遺産の認定地域、認定を目指す地域に対し、認定委員会の助言に基づく受入環境改善や魅力発信等の取組みを支援するとともに、国内外に広くPRし、誘客拡大に繋げる。

<補助制度の概要>

【認定地域】補助率：10/10 以内 【未認定地域】補助率：2/3 以内

(款) 7 商工費	(項) 2 観光費	(目) (2) 観光開発費
(明細書事業名) ○観光対策費		飛騨・美濃じまん推進費

所 属	観光国際部観光国際政策課		
係 名	政策企画係	内線	3915

## 観光産業の安定的基盤づくり

1 事業費	16,500 (前年度 12,000)		
	【財源内訳】		【主な用途】
	国庫	10,000	委託料 15,240
	一般財源	6,500	

### 2 背景・事業目的

コロナ禍を経て、観光産業においては宿泊業を中心に、構造的な課題である人材不足がより一層顕著となっており、回復する観光需要を十分取り込めない状況が続いている。

これまでデジタル技術の導入等による業務改善や生産性向上、人材確保・定着に向けた取組みを支援してきたところであるが、今後はこれらに加え、宿泊業の「稼ぐ力＝収益を上げる力」向上に向けた取組みを支援するなど、観光産業の安定的基盤づくりを進める。

### 3 事業概要

#### **新** (1) 宿泊施設の「稼ぐ力」向上支援 (4,500 千円)

客単価アップに繋がるサービス向上など、宿泊施設の高付加価値化を進めるため、専門家等から全国の成功事例を学べるセミナー・勉強会を開催するとともに、個別相談の機会を設けるなど、県内宿泊施設の「稼ぐ力」の向上を支援する。

#### (2) 観光人材の確保・定着支援 (12,000 千円)

県内宿泊事業者等と連携し、人材の確保・定着に向けた仕組みの構築及び効果的な取組みの共有を図るとともに、観光関係学部を有する大学等での出前講座を実施し、県内宿泊施設で働く魅力を広くPRする。

(款) 7 商工費	(項) 2 観光費	(目) (2) 観光開発費
(明細書事業名) ○観光対策費	観光開発促進費	

所 属	観光国際部観光国際政策課		
係 名	サステイナブル・ツーリズム推進係	内線	3915
所 属	観光国際部観光誘客推進課		
係 名	海外誘客係・誘客政策係	内線	3955

## インバウンド誘客の全県展開

1 事業費 103,398 (前年度 55,000)

【財源内訳】 【主な使途】

国庫	30,748	委託料	85,069
一般財源	72,650	補助金	10,000

### 2 背景・事業目的

本県のインバウンドは、全国と比べて未だ回復途上にあるうえ、地域的な偏りもみられる。そこで、2025年の大阪・関西万博も見据えた関西ルートからの誘客強化やランドオペレーター※等との連携により、美濃エリアを含めた県全域へのインバウンド誘客を展開するとともに、観光需要の更なる増加に伴い、今後、懸念されるオーバーツーリズム（観光公害）の未然防止など、地域の取組みを支援する。

※海外の現地旅行会社の依頼を受け、日本のホテルやバスなどの手配・予約を行う会社。

### 3 事業概要

#### (1) 県全域へのインバウンド誘客 (44,898 千円)

県全域へのインバウンド誘客を図るため、航空会社や空港のほか、大阪・関西万博を見据えた関西圏等と連携した誘客プロモーションを実施するとともに、ランドオペレーターと連携し、県内観光地への「もう一泊」を促す旅行商品造成を進める。

#### 新 (2) 中部山岳国立公園南部地域への誘客プロモーション (10,000 千円)

世界水準の旅先を目指す「松本高山 Big Bridge 構想」を推進するため、奥飛騨ビジターセンター開設を契機とし、奥飛騨温泉郷や乗鞍岳などの中部山岳国立公園南部地域の魅力を国内外に発信するなど、集中的な誘客プロモーションを実施する。

#### (3) オーバーツーリズム対策等に向けた地域の取組支援 (10,000 千円)

持続可能な観光地域づくりに向け、今後、懸念されるオーバーツーリズムの未然防止など、地域住民も交えて行う受入環境整備等、地域の取組みを支援する。

<補助制度の概要>補助率：2/3 以内、補助限度額：5,000 千円

#### (4) 世界レベルのデジタルマーケティングの推進 (38,500 千円)

観光誘客及び観光消費のより一層の拡大を図るため、県観光ウェブサイトへのアクセス状況から国ごとの旅行者の嗜好を分析し、旅行博やウェブサイト、SNS、オンライン広告等で本県観光情報を効果的に発信する。

(款) 7 商工費 (項) 2 観光費 (目) (2) 観光開発費  
(明細書事業名) ○観光対策費  
飛騨・美濃じまん推進費

所 属	観光国際部観光誘客推進課		
係 名	国内誘客係	内線	3959

## 国内観光需要の持続・安定化

1 事業費 158,000 (前年度 230,000)

【財源内訳】 【主な使途】

国庫	135,000	補助金	120,000
一般財源	23,000	委託料	36,214

## 2 背景・事業目的

コロナ禍により大きな打撃を受けた観光産業の早期回復を目指し、県内旅行の割引キャンペーンにより、観光需要の喚起及び観光消費拡大を図ってきたところであるが、未だ回復途上にある。

そこで、交通事業者などの観光事業者と連携した誘客キャンペーン等を実施し、閑散期の観光需要の喚起、国内交流の更なる増大を目指す。

## 3 事業概要

- 新** (1) 高山本線全線開通90周年等を契機とした誘客促進 (8,000 千円)  
 交通事業者と連携し、高山本線全線開通90周年や東海道新幹線開業60周年を契機とした駅広告や駅イベントなど、集中的な誘客プロモーションを実施する。
- (2) 平日誘客促進キャンペーンの展開 (30,000 千円)  
 大手宿泊予約サイトを活用した平日特別宿泊プラン、NEXCO中日本と連携した県内周遊ドライブプランを造成し、WEB広告等により、販売を促進する。
- (3) 「ぎふ旅コイン」による観光消費の拡大 (120,000 千円)  
 電子観光クーポン「ぎふ旅コイン」付き宿泊プランの造成や、交通事業者と連携した県内旅行のクーポン付与など、「ぎふ旅コイン」を活用した観光消費の拡大を図るとともに、利用データの分析結果を観光事業者等と共有し、リピーターの獲得等に向けた効果的な情報発信を実施する。

(款) 7 商工費	(項) 2 観光費	(目) (2) 観光開発費
(明細書事業名) ○観光対策費	飛驒・美濃じまん推進費	

所 属	観光国際部国際交流課		
係 名	国際連携係・国際交流係	内線	3971・3974

## 未来につなぐ国際交流の深化

1 事業費	62,501 (前年度 21,092)
	【財源内訳】
	【主な使途】
	一般財源 62,501
	委託料 57,713
	旅費 1,198

### 2 背景・事業目的

これまで本県が長年にわたり関係を構築してきた国・地域の文化を県民に紹介し、更なる国際交流の深化を図る。

### 3 事業概要

- 新** (1) 欧州各国・中国江西省との国際交流の深化 (31,783 千円)
- ・ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」岐阜公演の開催  
ポーランド・シロンスク県との更なる交流の深化を図るため、同県を拠点に活躍する国立民族合唱舞踊団「シロンスク」の岐阜公演や歓迎レセプション、県民との交流イベント、パネル展等を開催する。
  - ・フランス・アルザスの物産・パネル展の開催  
アルザス文化に対する県民の理解促進を図るため、アルザスの豊かな食文化「ガストロノミー」に焦点を当てた料理フェアや物産展、アルザス文化を紹介するパネル展等を県内で開催する。
  - ・中国江西省芸術団の岐阜公演の開催  
本県と1988年から友好提携を締結する江西省の芸術及び文化への理解促進を図るとともに、更なる交流の深化に繋げるため、県内において中国江西省芸術団による岐阜公演を開催する。
- (2) リトアニアNOWの規模拡大開催による文化発信 (30,718 千円)
- 7回目を迎える「リトアニアNOW」を、会場の規模を拡大し、内容を充実させて実施することにより、杉原千畝の功績とリトアニア文化の魅力をより一層広く発信する。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (6) 国際化推進費
(明細書事業名) ○国際交流費	国際交流協力推進事業費	